

臺灣與岩國的羈絆

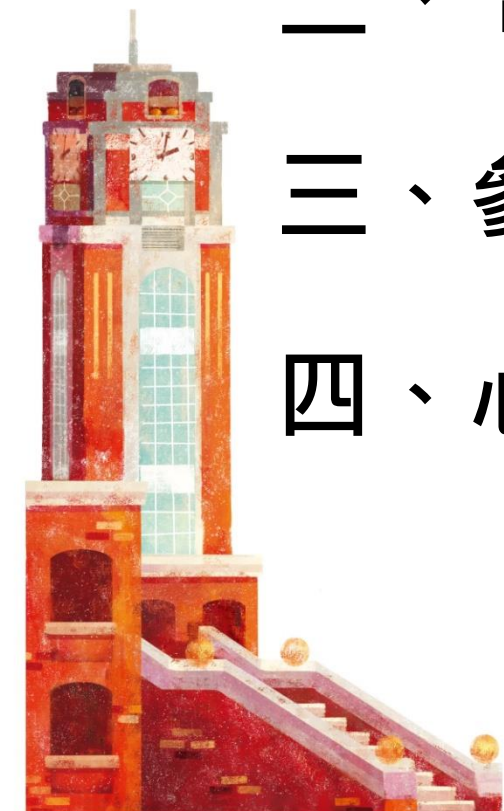
高水高校與觀光書法交流展參訪報告

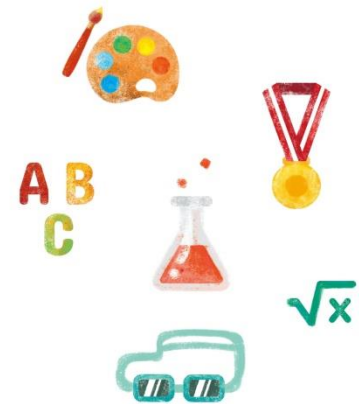
報告日期:112年3月31日(星期五)



報告大綱

- 一、計畫緣起
- 二、出國目標
- 三、參訪過程
- 四、心得建議





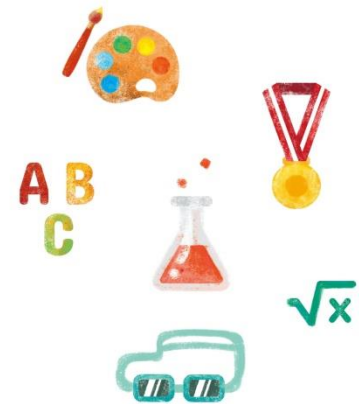
計畫緣起



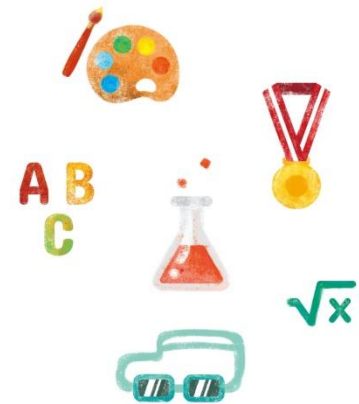
來自一份真摯的邀請
來自一份跨國的感動
來自一份開拓學生視野的責任



臺灣跟山口縣在歷史的情誼上深厚，五位總督是山口出生，日治五十年近半由山口及九州總督治理，總統府、臺北賓館、臺北車站、臺灣大學、建中乃至建成國中以及縱貫鐵路、東部開發等當時都是由山口的總督和技師們擘劃和完成。(日本建築師近藤十郎為山口縣出身)









出國目標




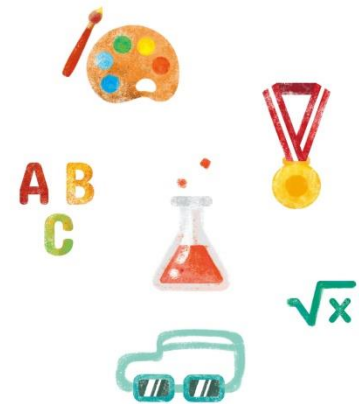


1.藉由至日本夥伴學校參訪，規劃未來本校師生交流的明確目標、交流前的增能課程與交流後的分享或統整課程。

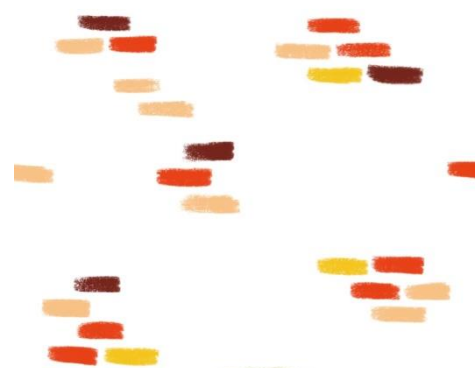
2.認識日本不同學制與教育法落實在學校教育的實施現況。

3.觀察日本交通道路規劃與行道設計，提供本校交通安全課程之思維與建議。





參訪過程



交通路程



1. 臺北-福岡機場

(飛行時間約2小時)

2. 博多車站-

新岩國車站

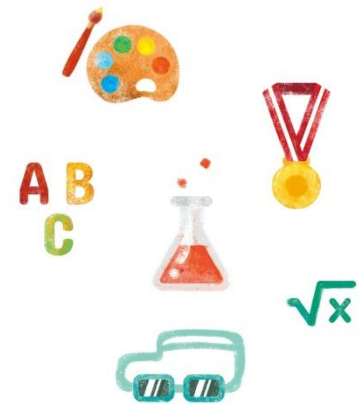
(新幹線時間約90分鐘)

3. 新岩國車站-

岩國車站/高水高校

(開車約30分鐘)

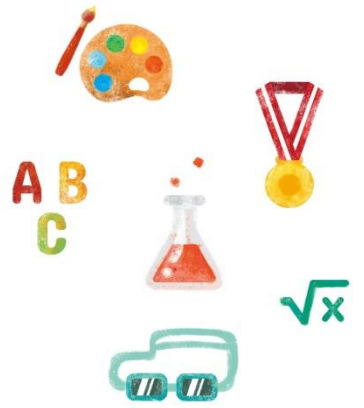




交通的真實情況



無止盡的排隊



岩國市的情況

岩國市位於日本中國地方山口縣最東端的城市，以小瀨川為界與廣島縣相接。錦帶橋為轄內最具代表性的景點，轄內也設有岩國飛行場，為日本海上自衛隊與美國海軍陸戰隊駐日部隊共用的軍事基地。



高水高等學校附屬中學校

高水高等學校附屬中學校是明治31年(1898年)創設的私立高水村塾，自昭和29年(1954)搬至岩國以來、已有124年的歷史。



高水高等學校附屬中學校



第1校舎

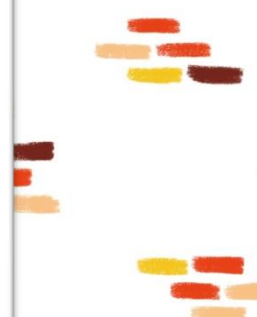
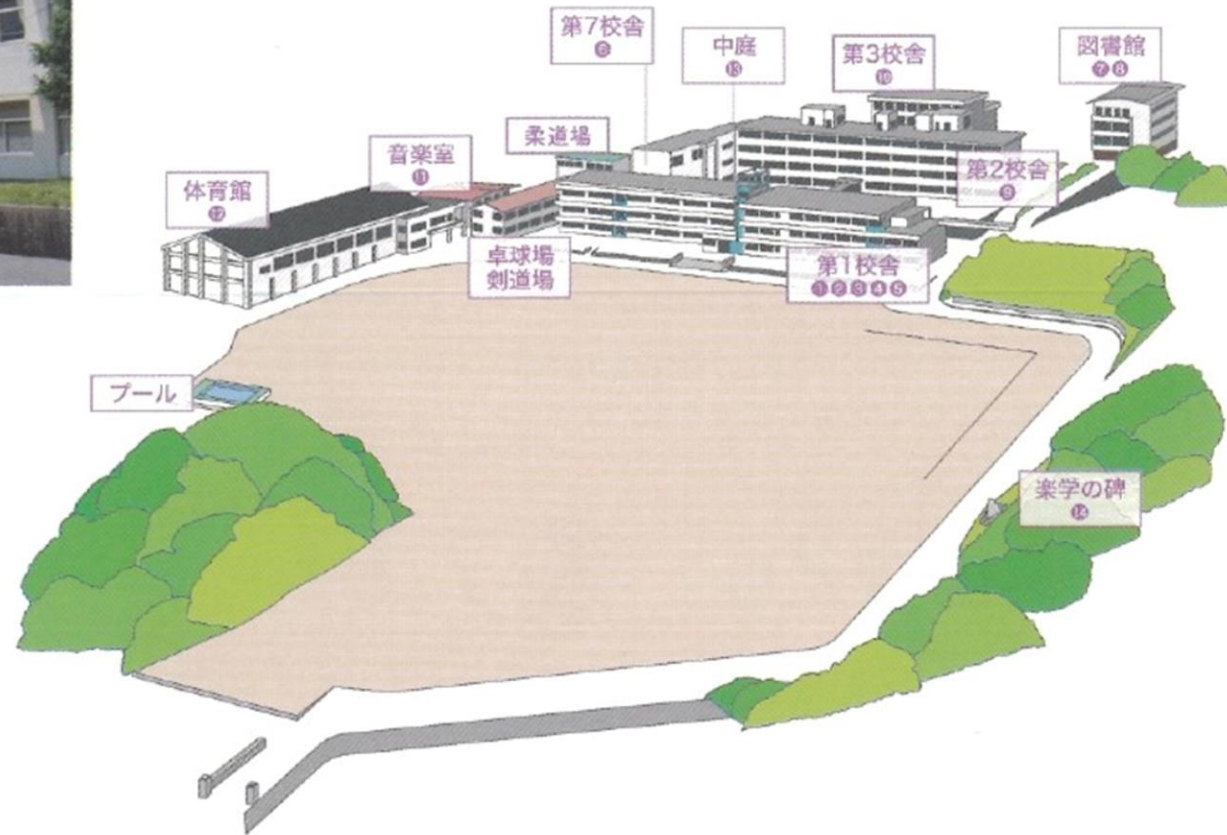


TACルーム(生徒自習室) 第1校舎

友人と話し合いながら勉強していくには最適!!テスト前には多くの生徒が利用しています。

FACILITIES

施設紹介
校内マップ



依山傍海的學校





チャットルーム

第1校舎

英語学習に特化した専門教室!!ここでは英語しか使えません。



化学室

第1校舎



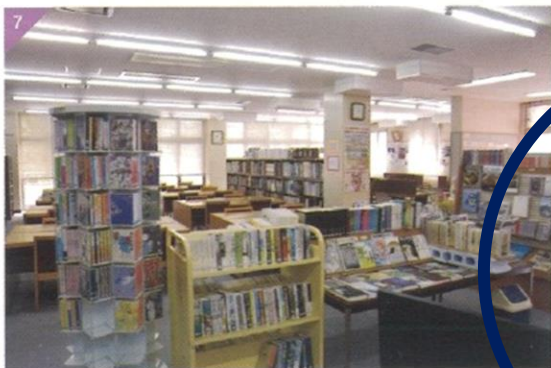
視聴覚室

第1校舎



PCルーム

第7校舎



図書室

専門書、新書、小説、マンガまで何でも揃う山口県下で最大の図書館です。



茶室

図書館



第2校舎



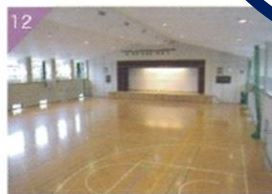
食堂

第3校舎

シェフが作る日替わり定食はオススメ!!
フライドポテトも大人気です。



音楽室



体育館



中庭



楽学の碑

校道途中にある「楽学の碑」。これこそが創立124年の伝統を受け継ぐ高水学園の建学のシンボルです。論語の「学びて時に之(これ)を習う、亦(ま)た悦(よろこ)ばしからずや、朋(とも)有り遠方より来る、亦た楽しからずや」から引用した言葉です。





3
チャットルーム 第1校舎
英語学習に特化した専門教室!!ここでは英語しか使えません。



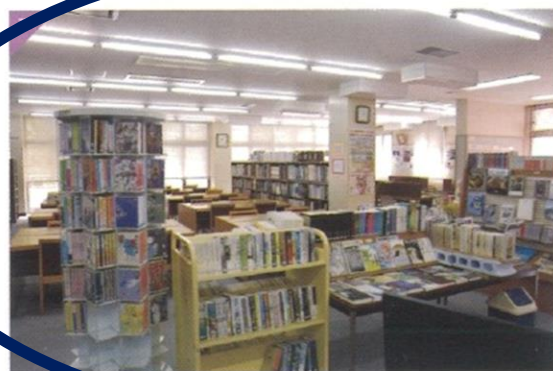
化学室 第1校舎



視聴覚室 第1校舎



PCルーム 第7校舎



図書室
専門書、新書、小説、マンガ!?まで何でも揃う山口県で最大の図書館です。



茶室 図書館



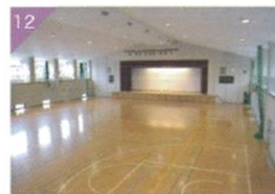
9
第2校舎



10
食堂 第3校舎
シェフが作る日替わり定食はオススメ!!
フライドポテトも大人気です。



11
音楽室



12
体育館



13
中庭



楽学の碑

校道途中にある『楽学の碑』。これこそが創立124年の伝統を受け継ぐ高水学園の建学のシンボルです。論語の「学びて時に之(これ)を習う、亦(また)悦(よろこ)ばしからずや、朋(とも)有り遠方より来る、亦た楽しからずや」から引用した言葉です。



高水高校の一日作息



登校

8:15

8:15に着席完了です。8:30の朝礼までの15分間は、自学自習の時間です。



午前授業

8:40

8:40から1時間目が始まります。50分授業が午前中に4時間あります。教科によって担当者が変わります。



昼休み

12:30

昼食は教室または食堂でとります。昼食後のひとときは、中庭で過ごすこともできます。



午後授業

13:10

13:10から5時間目が始まります。月・火・木は7時間目まで、水・金は6時間目まであります。



清掃

16:10

16:00(水・金は15:00)から終礼・掃除を行い、クラブ活動(文化部5つ・運動部3つ)に参加します。

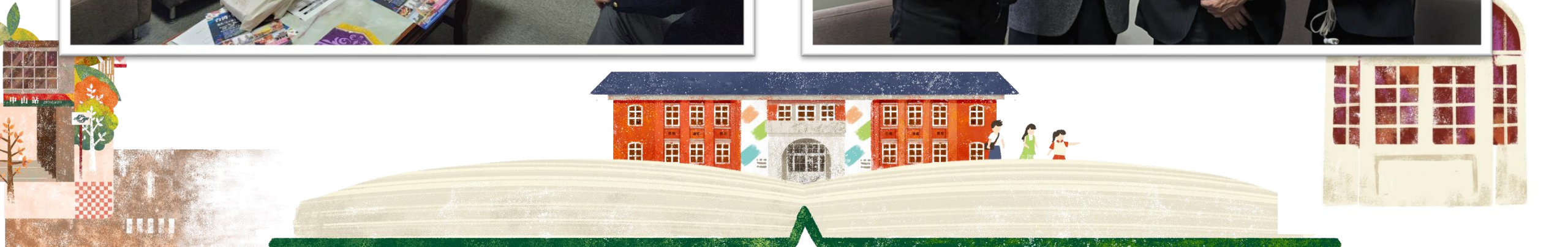


放課後

16:30

下校時刻は3月から10月中旬は18:00、12月から1月中旬は17:00、それ以外は17:30です。

學校交流





英語がいちばん好き。と生徒たちは口をそろえて言う。
もうひとつの「ことば」を学ぶことは、もうひとつの「世界」を知ることだから。
大切なことは、「聞いて」「話す」という普通のプロセスだ。

GLOBAL EDUCATION

英語教育

ネイティブの話が聞き取れる耳とネイティブに通じる発音を身につけることが英語科の初期の目標です。もはや国際共通語となった英語。グローバル化した国際社会にあっては英語が必要不可欠。スピーキングを土台にして、英語の難しい文章も読み解いていけるようにします。

「ことば」の学習を進める秘訣は、慣れる時間をふやすことです。登校と同時に、どれだけ多くの英語と出会えるか、そういう環境を意図的に作ることが必要となります。

高水は、英語の授業とは別に英会話の授業があります。ネイティブの教員が日常的に話しかけてきます。スカイプを使って姉妹校の外国人生徒と英語で交流します。



海外姉妹校

さまざまな異文化に触れ、国際的な感覚を養います。

生徒の海外研修プログラムや留学を有利な条件で実施しています



2014年3月提携

ポールケイン高校
(カナダ・アルバータ州)



2016年6月提携

サザンクロスカトリックカレッジ
(オーストラリア・クイーンズランド州)

海外友好親善協定校

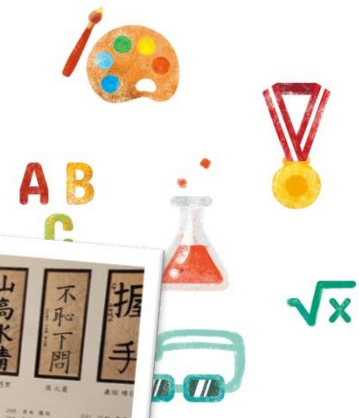


建成國民
中学校
(台湾・台北市)

觀光書法交流展

3月25日至28日舉行在
岩國市民文化會館

展示建成國中37件、岩
國市麻里布109件、高
水高等學校附屬中學75
件一共221位學生的書
法作品。



當天由高水中學學生以巨筆揮毫寫下：「共同踏出羈絆新的一步」，象徵臺日新的友誼。

A
B
C



會場展示建成國中師生拿著書道作品的大合照 校長以VR向福岡辦事處陳銘俊處長介紹建成國中



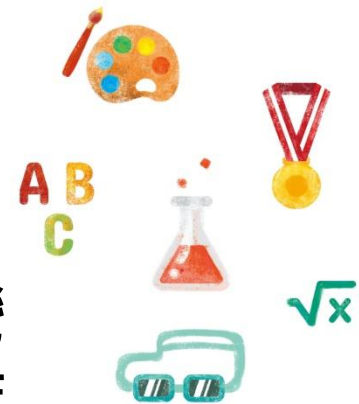
從山口與台灣的羈絆看未來 講演會

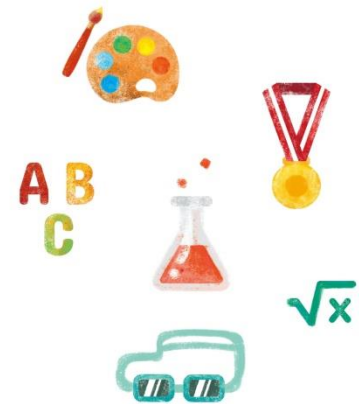


從山口與台灣的羈絆看未來 講演會

岩國市教育委員會教育長守山敏晴感謝這次的交流讓他認識台灣國中教育的特色，並指出學生們在書法使用的宣紙揉合台灣香蕉皮及鳳梨皮，象徵台日的情誼，並期許學生們可以扮演國際交流友誼橋樑。

山口縣日本台灣親善協會會長中治宣光致詞時說道，自己年幼時就讀建成小學校，看到母校風貌猶存且呈現嶄新發展，感到無比欣慰，祝福台日的情誼綿延不絕，期待今年率團造訪。

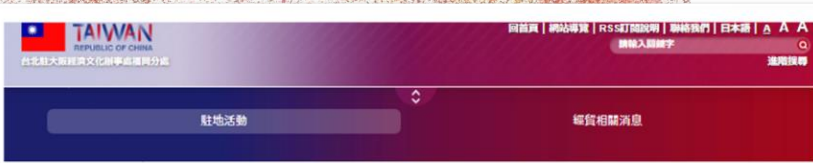




心得與建議



相關報導



瀏覽路徑：回首頁 > 最新消息 > 駐地活動

3月25日台日觀光書法交流展，從台日羈絆基礎上邁向新連結

張貼日期：2023-03-27



「台灣與岩國的羈絆—觀光書法交流展」今(25)天在岩國盛大舉行，台北駐福岡經濟文化辦事處陳銘俊處長及台北建成國中黃啟清校長接受山口縣日本台灣親善協會的邀請前往當地祝賀，陳處長以「從山口與台灣的羈絆看未來」為題發表演說。陳處長演說中表示，台灣跟山口縣在歷史的情誼上深厚，五位總督是山口出生，日治五十年近半由山口及九州總督治理，總統府、台北賓館、台北車站、台灣大學、建中乃至建成國中以及縱貫鐵路、東部開發等當時都是由山口的總督和技師們擘劃和完成。現在台日關係也深受山口縣的政治家們所影響，特別是前首相安倍晉三迄今仍深受台灣人們所愛戴。最後陳處長鼓勵山口縣今後繼續對台日關係發展作出貢獻，鼓勵建立姐妹市、姐妹校，山口學生或其他團體訪台，可以經歷目睹前輩所留貢獻，而以山口為榮，傳承山口與台灣在觀光、經貿甚至科技的合作往來。岩國市教育委員會教育長守山敬稱感謝這次的交流讓他認識台灣國中教育的特色，並指出學生們在書法使用的宣紙結合台灣香薰皮及鳳梨皮，象徵台日的情誼，並期許學生們可以扮演國際交流友誼橋樑。山口縣日本台灣親善協會會長中治直光致詞時說道，自己年幼時就讀建成小學校(現建成國中)，看到母校風貌留存且呈現新發展，感到無比欣慰，祝福台日的情誼綿延不絕，期待今年率團造訪。



熱門：輕旅行、以神之名、BLACKPINK

請輸入關鍵字



Google 已關閉廣告

首頁 > 即時新聞

台日觀光書法交流展，從台日羈絆基礎上邁向新連結

中央社/ 2023.03.27 09:22 讚 0 A- A A+

(中央社訊息服務20230327 09:22:33)「台灣與岩國的羈絆—觀光書法交流展」今(25)天在岩國盛大舉行，台北駐福岡經濟文化辦事處陳銘俊處長及台北建成國中黃啟清校長接受山口縣日本台灣親善協會的邀請前往當地祝賀，陳處長以「從山口與台灣的羈絆看未來」為題發表演說。

陳處長演說中表示，台灣跟山口縣在歷史的情誼上深厚，五位總督是山口出生，日治五十年近半由山口及九州總督治理，總統府、台北賓館、台北車站、台灣大學、建中乃至建成國中以及縱貫鐵路、東部開發等當時都是由山口的總督和技師們擘劃和完成。現在台日關係也深受山口縣的政治家們所影響，特別是前首相安倍晉三迄今仍深受台灣人們所愛戴。最後陳處長鼓勵山口縣今後繼續對台日關係發展作出貢獻，鼓勵建立姐妹市、姐妹校，山口學生或其他團體訪台，可以經歷目睹前輩所留貢獻，而以山口為榮，傳承山口與台灣在觀光、經貿甚至科技的合作往來。



台日觀光書法交流展 從台日羈絆基礎上邁向新連結



陳銘俊處長率領辦事處同仁赴岩國。



【山口/綜合報導】「台灣與岩國的羈絆—觀光書法交流展」於3月25日在岩國盛大舉行，台北駐福岡經濟文化辦事處陳銘俊處長及台北建成國中黃啟清校長接受山口縣日本台灣親善協會的邀請前往當地祝賀，陳處長以「從山口與台灣的羈絆看未來」為題發表演說。

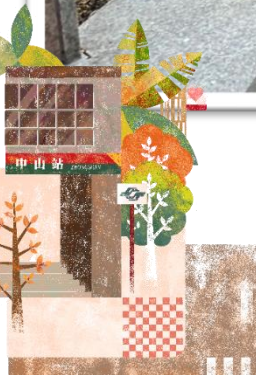


陳處長演說。

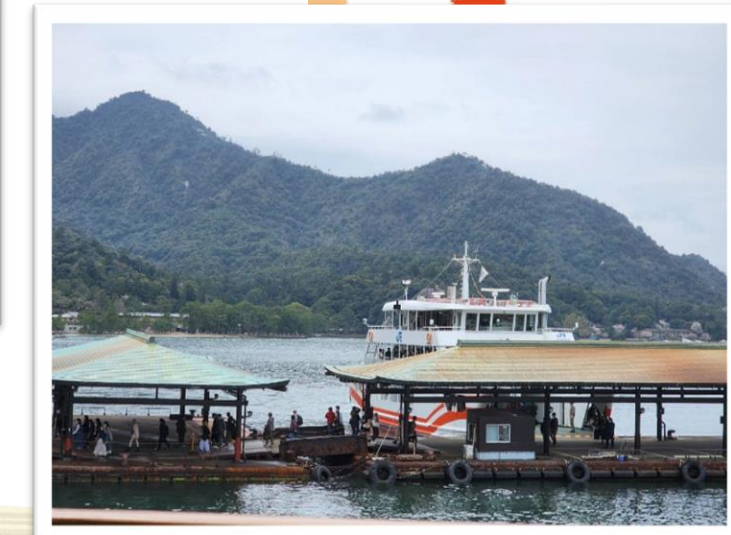
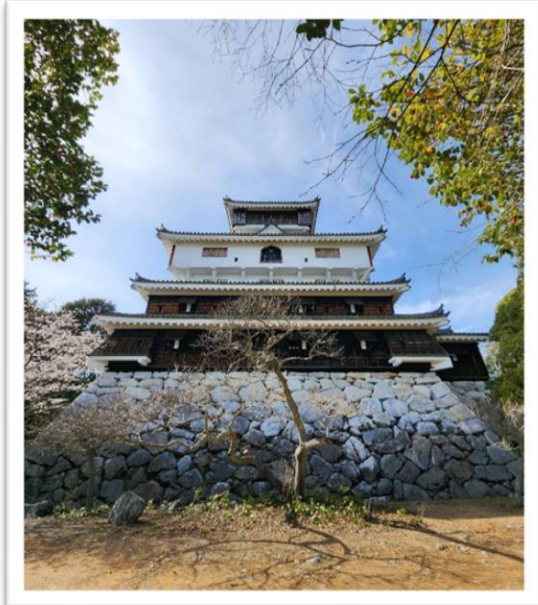
街道觀察



街道觀察



教育旅行與文化學習規劃





報告完畢

